

基本政策2 「教育・文化」

テーマ

未来を切り拓く地域人（萩っ子）

が育つまち



基本政策2 「教育・文化」

【成果指標】

◆取組施策1 学校教育		
施策を評価する指標	県学力診断テスト市平均点と県平均点との差	
	現状値（令和6年度）	目標値（令和12年度）
	-3.6	+0.5
◆取組施策2 生涯学習		
施策を評価する指標	各種講座参加者数	
	現状値（令和6年度）	目標値（令和12年度）
	1,564人	1,580人
◆取組施策3 スポーツ振興		
施策を評価する指標	スポーツイベントへの参加者数	
	現状値（令和6年度）	目標値（令和12年度）
	2,129人	3,500人
◆取組施策4 市民文化		
施策を評価する指標	高萩市文化祭の参加者数	
	現状値（令和6年度）	目標値（令和12年度）
	1,800人	2,700人



【関連計画・制度】

◆取組施策1 学校教育

- 高萩市立小中学校適正規模・適正配置基本方針【令和5年度～】
- 高萩市立小中学校適正規模・適正配置実施計画【令和6年度～令和15年度】
- 高萩市立義務教育学校施設整備基本構想・基本計画

◆取組施策2 生涯学習

- 高萩市生涯学習推進計画【令和4年度～令和8年度】

◆取組施策3 スポーツ振興

- 高萩市スポーツ推進計画【令和5年度～令和9年度】

◆取組施策4 市民文化

- 高萩市生涯学習推進計画【令和4年度～令和8年度】



1

学校教育



●現状と課題

- 課題解決型学習や体験型学習など、児童生徒が主体的に学ぶことができる環境づくりに取り組むとともに、ICTの効果的な活用による学習環境の充実を図っています。今後はタブレット端末などの計画的な更新が課題となっています。
- 児童生徒の個性や能力、可能性を伸ばすため、A L Tを活用した語学教育の充実、教員の資質向上に向けた研修の推進に取り組んでいます。
- 校務支援システムや採点支援システムの導入により校務の効率化を進めていますが、DX化や働き方改革を推進するため、さらなる機能の活用や環境整備の充実が求められています。
- 2020（令和2）年度から、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を設置し、地域と連携した学校づくりに取り組んでおり、活動の充実を図る必要があります。
- 引き続き、いじめ防止や性的マイノリティを含む人権教育の推進に取り組むとともに、不登校児童生徒への対応や子どもの居場所づくりなどへの対応が必要です。
- 引き続き、地域学校協働本部の取り組みを通じ、児童生徒の見守りや学びの支援、放課後子ども教室などに取り組みます。
- 少子化の進展と学校施設の老朽化により、児童生徒の学習環境の維持が問題となっており、教育施設の再編が求められています。
- 老朽化した給食センターの今後のあり方が課題となっています。
- 文化部（吹奏楽部）活動の地域移行に向けた実証事業を実施しています。



● 施策の基本方針

- 学習内容や教育環境の充実を推進するとともに、学校と地域・家庭との連携強化を図り、問いの発見と解決に重点を置く探究的な学びの充実に取り組みます。
- 学校施設のバリアフリー化や省エネルギー化を推進し、ICTを活用した学習環境の一層の充実と防犯対策を徹底します。また、教員の資質向上を図り、働きやすい就業環境の改善にも取り組みます。



●施策を実現するために行う基本事業

①教育環境の充実

担当課 教育総務課

取組方針

- 児童生徒数の減少や施設の老朽化に対応するため、学校再編による施設の整備や改修に取り組みます。
- 老朽化した給食センターの今後のあり方について検討し、持続可能な給食提供体制を維持します。
- G I G Aスクール構想に基づく教育環境の整備・充実、計画的な機器の更新、教員の I Tスキルの向上に取り組みます。
- 通学路の安全確保や学校施設の防犯対策、バリアフリー化、省エネルギー化に加え、防災機能の強化や特別支援教育への対応を図ります。さらに照明や放送・通信機器などの設備の改善に取り組み、児童生徒が安心して健やかに学べる教育環境の整備を推進します。

主な事業取組

学校施設維持管理経費、学校施設整備事業、通学路交通安全プログラム 等

②確かな学力の定着

担当課 学校教育課

取組方針

- 課題解決型学習や体験型学習などを取り入れた教育の推進に取り組み、児童生徒が自ら学ぶ力を育成します。
- 各種研修会の実施及び工夫改善や相互授業参観を通して、教員の授業力向上を図ります。
- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な推進に向け、教員の I C T活用指導力の向上を図ります。
- 学力診断のためのテストや全国学力・学習状況調査の結果を分析・活用し、基礎的基本的な知識及び技能の定着を図ります。

主な事業取組

教育指導事務、イングリッシュ・デイキャンプ、イングリッシュ・キャンプ派遣事業、A L T（外国語指導助手）派遣、I C T支援員派遣、一人授業研究 等

③豊かな心の育成

担当課 学校教育課

取組方針

- 児童生徒が安心して学べる魅力ある学校・学級づくりを目指し、自己肯定感、自己有用感の向上を図ります。
- スクールカウンセラーや心の教室相談員による相談体制の充実を図り、不安や悩みを抱える児童生徒を支援します。
- 道徳教育、環境教育、ボランティア活動、体験学習等の幅広い学習機会を創出するとともに、読書活動の充実を図ります。
- 特別な支援を必要とする児童生徒に対する適切な学びの環境の確保と相談支援体制の充実に努めます。
- 認知機能を強化することで、学力や生活全般の質的向上を図り、自己効力感を育みます。

主な事業取組

平和学習派遣事業、学校図書 の充実、E S D（持続可能な開発のための教育）、情報モラル教育、アントレプレナーシップ教育、スクールカウンセラー・心の教室相談員の派遣、教育支援センター（萩のひろば）、教育支援委員会設置、認知機能強化トレーニング 等

④健やかな身体づくりの支援

担当課 学校教育課、教育総務課

取組方針

- 体育の授業や部活動等を通じて、児童生徒の体力の維持・向上、スポーツへの関心の醸成を支援します。
- 民間事業者との連携による水泳授業の実施や食育の推進に取り組み、健全な心身の成長を支援します。

主な事業取組

体力の向上、心身の健康の保持増進、安心な給食の提供、食育の推進 等



⑤開かれた学校運営

担当課 学校教育課、生涯学習課

取組方針

- 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）において、学校の目標や育てたい子どもの姿を地域と共有し、学校を核とした地域づくりに努めます。
- 地域人材を活用した体験活動や学校環境の整備、登下校の見守り等について、地域学校協働本部と連携し、子どもの豊かな学びと健やかな成長を支援します。
- 休日文化部（吹奏楽部）活動の段階的な地域移行を推進します。

主な事業取組

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）、地域学校協働本部、文化部（吹奏楽部）活動の地域移行に向けた実証事業等

★コラム 体育館空調設備

近年、学校施設に求められる役割は多岐にわたります。学習環境の向上はもちろん、災害時の避難所としての機能強化や地域スポーツの促進など、学校は地域社会にとって重要な拠点となっています。このような状況において、学校体育館における空調設備の整備が完了したことは、教育環境の向上と防災体制の強化の両面において大きな意義を持ちます。



多くの役割を担う学校体育館

○熱中症対策としての空調設備

本市では 2023（令和5）年度から、小中学校の体育館への空調設備整備を計画的に進め、2025（令和7）年度には、すべての学校で整備が完了しました。この取り組みの第一の目的は、児童生徒の熱中症対策です。夏場の体育の授業や部活動など、体育館は児童生徒が活発に動く場所であり、常に熱中症のリスクが高まります。空調設備の導入により、室内の気温上昇を抑え、熱中症の発生防止に高い効果が期待されています。

また、空調設備は季節を問わず、体育館内の温度や湿度を適切に保ち、学習環境の質を高める役割も果たします。暑さや寒さに悩まされることなく、快適な環境で活動できることは、児童生徒の心理的な安定を支え、学習意欲や集中力の向上にもつながっています。

○避難所機能の強化

学校体育館の空調設備整備は、災害時の避難所機能強化という観点からも重要です。地震や台風、大雨などの自然災害が発生した際、学校は地域住民の避難場所としての役割を果たします。学校体育館には広いスペースがあり、また、地域住民に広く認知されている場所であることから、指定避難所※に位置付けられています。指定避難所として一時的な生活拠点とするためには、空調設備が不可欠です。特に近年の厳しい夏の暑さの中では、災害時に暑さによる体調不良が起こることも懸念されます。空調設備があれば、避難者は暑さに悩まされることなく、安心して避難生活を送ることができます。これにより、指定避難所としての機能が大きく向上し、災害時における地域住民の安全確保に寄与することができます。

※指定避難所：災害により自宅に戻れなくなった人が一時的に滞在する場所であり、次の住まいが確保されるまで生活の拠点となる避難施設です。なお、高萩市立小中学校は、災害発生時に緊急避難が必要な場合に利用される「指定緊急避難場所」としての役割も担っています。

2

生涯学習



●現状と課題

- 生涯学習情報誌「学びいき高萩」を作成し、市ホームページに掲載し周知を図っています。一方で、生涯学習活動を行っている市民の割合は1割で、生涯学習の機会が充足していると感じる市民の割合は2割と少なくなっています。
- 「いきいき萩っ子育成事業」として茨城大学と連携した理科教室や、友好都市である新庄市児童との交流事業「萩っ子歴史探検隊」、子ども達の健全育成を目的とした夏季事業「少年探検講座」「サマージャンボリー」などを実施しています。
- 少子化により、子ども会へ加入する児童が減少し継続が困難な状況となっており、担い手となるボランティアや指導者の高齢化が進んでいます。
- 中央公民館の老朽化やバリアフリー未対応等の課題解消のため、総合福祉センターを改修して中央公民館の機能を移転し、2024（令和6）年度から運用を開始しました。複合化により利便性向上を図っています。
- 図書館では電子図書を開始し、学校図書室との連携や広域利用等にも取り組んでいます。
- 家庭教育学級を市内保育所・認定こども園・民間企業で実施しています。

●施策の基本方針

- すべての市民が生涯学習活動を通じて、相互に学び合い、交流やつながりが生まれることを目指すとともに、地域・学校・家庭が連携・協働し、未来を担う人材の育成を図ります。
- 誰もが自らの意思で学べる環境づくりに向けて、生涯学習施設の充実や、様々な主体と連携した多様な学びの機会の提供を図ります。



● 施策を実現するために行う基本事業

① 生涯学習活動を通じた人づくりの推進

担当課 生涯学習課、学校教育課

取組方針

- 生涯学習とは何かを市民に広く啓発し、一人ひとりのニーズに対応したきめ細かな学習機会を提供するとともに、世代間交流の機会拡大につなげます。
- 学びの成果を地域に生かす機会の創出や仕組みづくりを進め、地域づくりへの参加や協働等、生涯現役に向けた取り組みを推進します。
- 幅広い知識や資源を持つ大学や市民団体、はぎッズ応援隊等と連携を図り、地域で思いやりと郷土愛を持った萩っ子の育成を図ります。
- 学校における総合的な学習の時間を活用し、児童生徒が本市の自然や産業などの地域資源を題材に探究活動を行うことにより、郷土への理解と愛着を育む学びを推進します。

主な事業取組

視聴覚関係事業、いきいき萩っ子育成事業、放課後子ども教室推進事業、総合的な学習を活用した萩っ子育成事業等

② 生涯学習環境づくりの推進

担当課 生涯学習課、生涯現役推進課

取組方針

- 社会教育施設の適正配置・管理体制を整え、利用しやすい施設環境の整備を図ります。
- 地域活動及び生涯学習の推進のため、市立小中学校施設を開放します。
- 生涯学習の拠点となるコミュニティ施設等において、市民のニーズを踏まえた講座等により活用促進を図るとともに、関係団体や企業等との連携により多様な学習機会の提供を図ります。

主な事業取組

生涯学習事業、学校施設開放事業、各種講座開催事業 等



3

スポーツ 振興



●現状と課題

- 「体力づくり市民歩く会」や「たかはぎ駅伝競走大会」といったイベントをはじめ、各種スポーツ教室等により、多種多様なスポーツ・レクリエーション活動への参加機会を創出しています。
- 国体を契機としてはじめた市のウエイトリフティング教室については、2025（令和7）年度からクラブへと移行しています。
- 中学校の運動部活動については、既に複数校の生徒が1つの拠点に集まり、合同部活動を実施していますが、今後国の動向をみながら活動の主体を学校から地域へと移し、地域展開（移行）を進めていきます。
- スポーツ振興団体と連携協力し、市民の多様なニーズに対応できる指導者の育成を図る必要があります。

●施策の基本方針

- 市民の誰もが多種多様なスポーツ・レクリエーション活動に親しめるよう、生涯にわたるスポーツ活動を推進し、指導者の育成、多様性への対応などのスポーツに取り組みやすい環境づくりを目指します。
- 市民のニーズに応じたスポーツ環境を整えるため、スポーツ施設の適切な維持管理や設備の充実、スポーツ施設以外の有効活用を図ります。



● 施策を実現するために行う基本事業

① 生涯スポーツ・レクリエーション活動の振興

担当課 生涯学習課

取組方針

- プロスポーツチームや競技団体と連携を図り、スポーツ・レクリエーション等様々な取り組みを展開し、幅広い世代の多くの市民が年齢や体力に応じ気軽にスポーツに親しめる環境を整えます。
- スポーツ振興団体と連携協力した指導者研修等により、市民ニーズに対応できる指導者の確保・育成を図ります。
- 誰もがスポーツを楽しめるよう、ニュースポーツの研究などに取り組みます。
- スポーツイベント等を活用し、地域の活性化を図ります。

主な事業取組

スポーツ・レクリエーション、指導者研修 等

② スポーツ施設の整備と活用

担当課 生涯学習課

取組方針

- スポーツ施設を活用し、ニーズに応じたスポーツ活動に取り組むことができるよう、計画的に各施設の維持管理を進めます。
- 小中学校の再編に伴う施設の利活用の検討や民間施設の活用等、スポーツ施設以外の有効活用を図ります。
- スポーツ施設の予約システムの導入やオンラインスポーツ教室等、スポーツにおけるDXを推進します。

主な事業取組

スポーツ施設維持管理事業等



4

市民文化



●現状と課題

- 子ども文化教室 1 日体験講座や文化祭など、文化団体活動が活発に行われています。文化会館では、幅広い年齢層に向けてコンサートや講演会など、様々な自主事業を開催しています。
- 長久保赤水関係資料については、国の補助を活用し 2021（令和3）年度から8か年計画で修理を実施しています。歴史民俗資料館には愛称「長久保赤水記念館」を追加し、長久保赤水の生涯にわたる功績の顕彰を進めています。
- 国際交流協会のボランティアにより、外国人を対象とした日本語教室、外国人留学生のホームステイ等が実施されています。
- 文化団体に対し、幅広い年齢層からの参加の呼びかけや、新たな活動場所の提供などを支援する必要があります。
- 長久保赤水関係資料の修理により得られた知見を広く発信する必要があります。
- 市内在住外国人との交流や外国文化に触れる機会を増やし、互いの文化を理解し合う必要があります。

●施策の基本方針

- 文化団体やグループ・サークル活動について、誰もが参加しやすい環境を整え、市民の文化活動が活発なまちを目指します。
- 長久保赤水をはじめとする郷土の歴史や文化財の適切な保護、保存を進めるとともに、郷土に関心が持てるよう、広く情報を発信します。
- 市内在住外国人との交流や外国文化に触れる機会を創出し、多文化共生を目指します。



● 施策を実現するために行う基本事業

① 芸術文化の振興

担当課 生涯学習課

取組方針

- 市民が芸術・文化活動を身近に感じ、興味・関心を高められるよう、市民のニーズに沿った芸術文化活動への支援を図ります。
- 文化団体の活動を活性化するため、幅広い年齢層からの参加を呼びかけ、新たな活動場所を提供するなど、支援します。
- 子どもたちに地域の伝統文化に触れる機会を提供し、シビックプライド（郷土愛）を育みます。

主な事業取組

芸術・文化活動事業 等

② 文化財の保護・保存・活用

担当課 生涯学習課

取組方針

- 市内にある貴重な文化財を保存・伝承するとともに、展示や周知により、郷土の歴史や魅力を広く発信します。
- 県の指定文化財である穂積家住宅は、適切に保存しつつ、特徴ある景観を活かしロケ地などとしての活用を図ります。
- 長久保赤水関係資料の修理により得られた知見は、特別展などにより市内外に広く発信します。

主な事業取組

文化財保護・管理運営 等

③ 市民による国際交流推進

担当課 生涯学習課

取組方針

- 高萩市国際交流協会との協働により、市内在住外国人との交流や外国文化に触れる機会を創出して、互いの文化を尊重し、理解を深めます。
- 市内在住外国人の暮らしに配慮し、生活支援やコミュニケーション支援に取り組みます。

主な事業取組

国際交流推進 等